

EXPO2025 大阪・関西万博から世界へ！ DOICプロジェクトと協賛プログラムのご提案



Institute of
SCIENCE
TOKYO

DOICアカデミックオーガナイザー

東京科学大学 産学共創機構

オープンイノベーション室

企画・運営事務局

株式会社 文化資本創研



AGENDA

1 EXPO2025 大阪・関西万博

2 DOIC (Digital Open Innovation Campus)
グローバルエコシステム構築事業

3 参加方法

4 協賛プログラムのご紹介

AGENDA

1

EXPO2025 大阪・関西万博

2025年に開催される大阪・関西万博の想定来場者数は約**2,820万人**

日本で予定されている最後の**世界最大の**「国際見本市」



テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン DESIGNING FUTURE SOCIETY FOR OUR LIVES
サブテーマ	Saving Lives (いのちを救う) Empowering Lives (いのちに力を与える) Connecting Lives (いのちをつなぐ)
コンセプト	-People's Living Lab- 未来社会の実験場
開催期間	2025年4月13日～10月13日 184日間
想定来場者数	約2,820万人
会場	大阪 夢洲 (ゆめしま)

(出所) <https://www.expo2025.or.jp/>

開催意義は、SDGsの達成、Society5.0の実現、及び「経済」・「社会」・「文化」等のあらゆる面において日本全体の飛躍の契機とすること

いのち輝く未来社会へ

新型コロナウイルス感染症を乗り越えた先の、新たな時代に向け、世界が一つとなることに意義があり、いのち輝く未来社会のありようを共有することは2025年以後の世界の新たな一歩となる。

SDGs達成・SDGs+beyondへの飛躍の機会

- ・SDGs達成に向けたこれまでの進捗状況を確認し、その達成に向けた取組を加速させる絶好の機会とする。
- ・中長期的な視野を持って未来社会を考えることを通じて、2030年のSDGs達成にとどまらず、その先(+beyond)に向けた姿を示す。

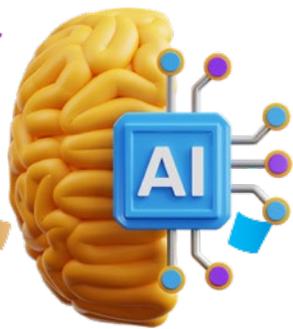
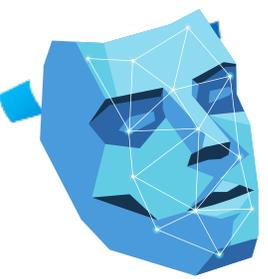
Society5.0実現に向けた実証の機会

会場全体を未来社会を先取りした超スマート会場とし、新たな技術、サービス及びシステムの社会実装に向けた「未来社会の実験場」とする。

日本の飛躍の契機に

- ・万博会場において、DX(デジタルトランスフォーメーション)による社会変革の新たな形や、地球環境問題への新たな挑戦の形を世界に示す。
- ・経済、社会、文化等あらゆる面において、大阪・関西のみならず、日本全体にとって更なる飛躍の契機とする。

(出所) 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会HP「[出展参加説明会資料](#)」より



**世界中のリーダーとともに未来を共創する
産学官連携 オープンイノベーションを、
EXPO2025 大阪・関西万博から！**

AGENDA

2

DOIC

Digital Open Innovation Campus

グローバルエコシステム構築事業

DOIC（Digital Open Innovation Campus）は、EXPO2025 大阪・関西万博（以下、万博とする）を通じて、産学官のオープンイノベーション創出を目指すグローバルエコシステム構築事業です。

DOIC



DOICアカデミックオーガナイザー／大学幹事
東京科学大学 産学共創機構

企画・運営会社：株式会社 文化資本創研

本事業の位置付け

万博を対象とした事業ではなく、万博会期後も、本エコシステムを継続・拡大し、世界の社会課題の解決に貢献します。

名称	デジタル・オープンイノベーション・キャンパス (DOIC)
万博の出展空間	デジタル技術を活用した「EXPO COMMONS」への参加 + 万博夢洲会場内でのイベントの実施等
コンセプト	「大学連合」×「産学官民」エコシステムによる技術共創と世界発信
参加者	世界の大学・研究機関研究者ほか、企業や官公庁・自治体など広く募集
詳細はこちら	EXPO 2025 project “DOIC” 東京工業大学 オープンイノベーション機構 (titech.ac.jp)

アカデミックオーガナイザー

東京科学大学 副学長（産学官連携担当）・産学共創機構 機構長 兼 オープンイノベーション室 室長

大嶋洋一

世界のアカデミアは、企業等と社会実装の担い手と共創し、科学技術等の多様なコンテンツを通じて世界の人々を幸福にすることに貢献し、SDGsが目指す“誰一人取り残さない世界の実現”という夢の一翼を担う。このミッションの実現のために、まずは、日本のアカデミアを中心とした研究者が、社会の一員として様々な企業・行政の支援を受け、科学技術を通じて、世界の人々を幸福にすることに貢献できる共創の環境整備の活動から始めたい。

この共創の環境としていつでもどこでも誰もが簡単にアクセスでき、グローバルなネットワーク及び多様な創造活動を可能にするデジタル・オープンイノベーション・キャンパス（以下、「DOIC」という。）という場を構築し、誰もがDOICを利用することで、グローバルな社会課題を皆の協力で解決できるエコシステムを構築します。

世界の人々がお互いの立場を理解し、相互に助け合う互助活動の経験を通じて、世界の諸問題を解決していく感動を一人一人が実感し、その感動が伝搬、共有され、人類として次世代を創造するエネルギー源を産み出していく好循環が起きるための第一歩を踏み出します。どこまで具体化できるかは参加者次第！参加者のアイデア、熱意に大いに期待しています！

Profile

1962年群馬県生まれ。1988年群馬大学大学院工学研究科（電子工学専攻）修士課程修了。

1991年経済産業省（当時、通商産業省）特許庁に入庁。

1991年から2019年まで特許庁で主に半導体関係の審査、審判業務に従事。

2014年筑波大学 ビジネス科学研究科 法曹専攻修了 法務博士を取得。

2019年7月東京工業大学（現 東京科学大学）オープンイノベーション機構統括クリエイティブマネージャーに就任。2022年5月東京工業大学（現 東京科学大学）学長特別補佐。2023年2月 東京工業大学（現 東京科学大学）副学長（産学官連携担当）。2024年10月より東京科学大学 副学長（産官学連携・知的財産担当）、産学共創機構 機構長

2023年3月29日、Road to 万博セミナー「知的財産の未来（共催：日本弁理士会、後援：万博博覧会協会）」で「Web3空間での知財の基礎とオープンイノベーションにつなげる知財戦略」を講演。

アカデミアの立場から時代ニーズに即した鋭い講演で好評を博した。近時、大学城下町2.0を掲げ、大学間ネットワークが牽引するオープンイノベーションエコシステムの重要性を訴えている。



プロジェクトに参加検討中の研究者の主な所属大学・機関 (2024.09時点)



世界的産学イベントでDOICを広く紹介。海外からの参加の呼びかけもスタート！



世界TOP20大学のうち、8大学 にDOICを紹介

オックスフォード大学 イェール大学
スタンフォード大学 プリンストン大学
シカゴ大学 デューク大学 など

万博会期までに複数回
米国・欧州に赴き、海外からの
参加を呼びかけてきます！

東京工業大学 副学長 大嶋先生が日本人初のインタビュー
海外からのDOICへの参加を呼びかけ！

DOICのこれまでの軌跡 ～各種イベント～

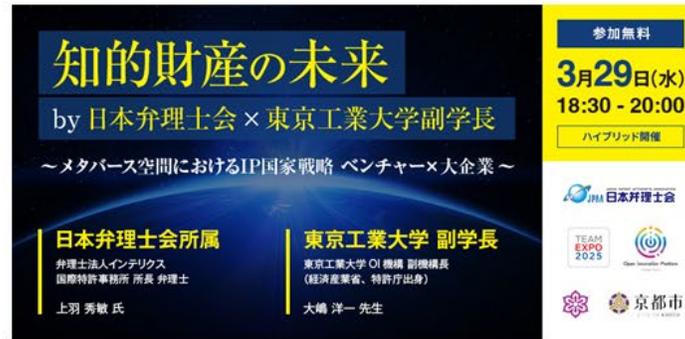
オープンイノベーション



【協力】QUINTBRIDGE（西日本電信電話株式会社）、デジタル・オープンイノベーション・キャンパス準備委員会

- ✓ “日本最大級の公的オープンイノベーションフォーラム”座長である名取先生とセミナーを実施

Web3.0×知的財産
(共催：日本弁理士会、後援：万博協会)



【共催】日本弁理士会、東京工業大学オープンイノベーション機構
 【後援】公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、京都府
 【協力】京都市、QUINTBRIDGE（西日本電信電話株式会社）、デジタル・オープンイノベーション・キャンパス準備委員会
 【告知協力】公益社団法人 大阪産業局

- ✓ 関西最大のオープンイノベーション施設 (QUINTBRIDGE) で過去最大級の知的専門家の集客
- ✓ 知的財産の専門家“日本弁理士会”と共催
- ✓ 東京工業大学副学長（産学官連携担当）も登壇

デザイン経営

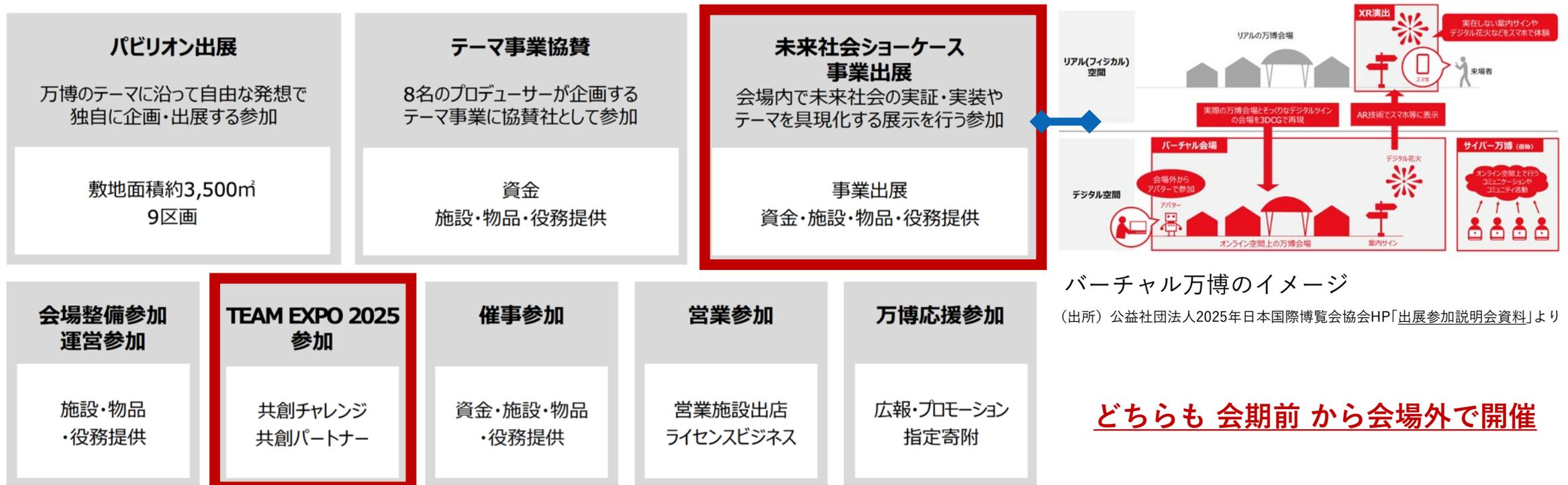


【協力】株式会社 GKデザイン機構、デジタル・オープンイノベーション・キャンパス準備委員会
 【後援】国際文化政策研究教育学会、一般社団法人文化政策・まちづくり大学校

- ✓ 「デザイン経営」宣言（経産省）策定コア・メンバー×京都大学名誉教授

DOICと万博の関わり方

- ① TEAM EXPO 2025： 市民参加型プログラムである「**共創チャレンジ**」へ参加
- ② 未来社会ショーケース事業： 事業の中の、**万博史上初のデジタル空間「EXPO COMMONS」**にメタバースを提供
万博協会が夢洲会場をオンライン空間上に3DCGで再現した「**バーチャル万博**」の参加者との連携を協議中



会期中のプログラムは、Track 1～5までで構成されています。

DOICが参加するメニューは、Track 3～4に該当します。

	トラック1	トラック2	トラック3	トラック4	トラック5
実施主体	公式参加者	日本国政府 自治体 等	博覧会協会 (アジェンダ2025) (テーマ事業)	TEAM EXPO 2025	万博参加企業
実施場所 (会場内)	公式パビリオン	日本政府館 大阪パビリオン メッセ 等	スタジオ (検討中) メッセ シグネチャーパビリオン	フューチャーライフ エクスペリエンス	民間パビリオン 未来社会ショーケース
(会場外)	テーマウィークコネクト 全国規模での各種国際会議などの実施、誘致・連携				

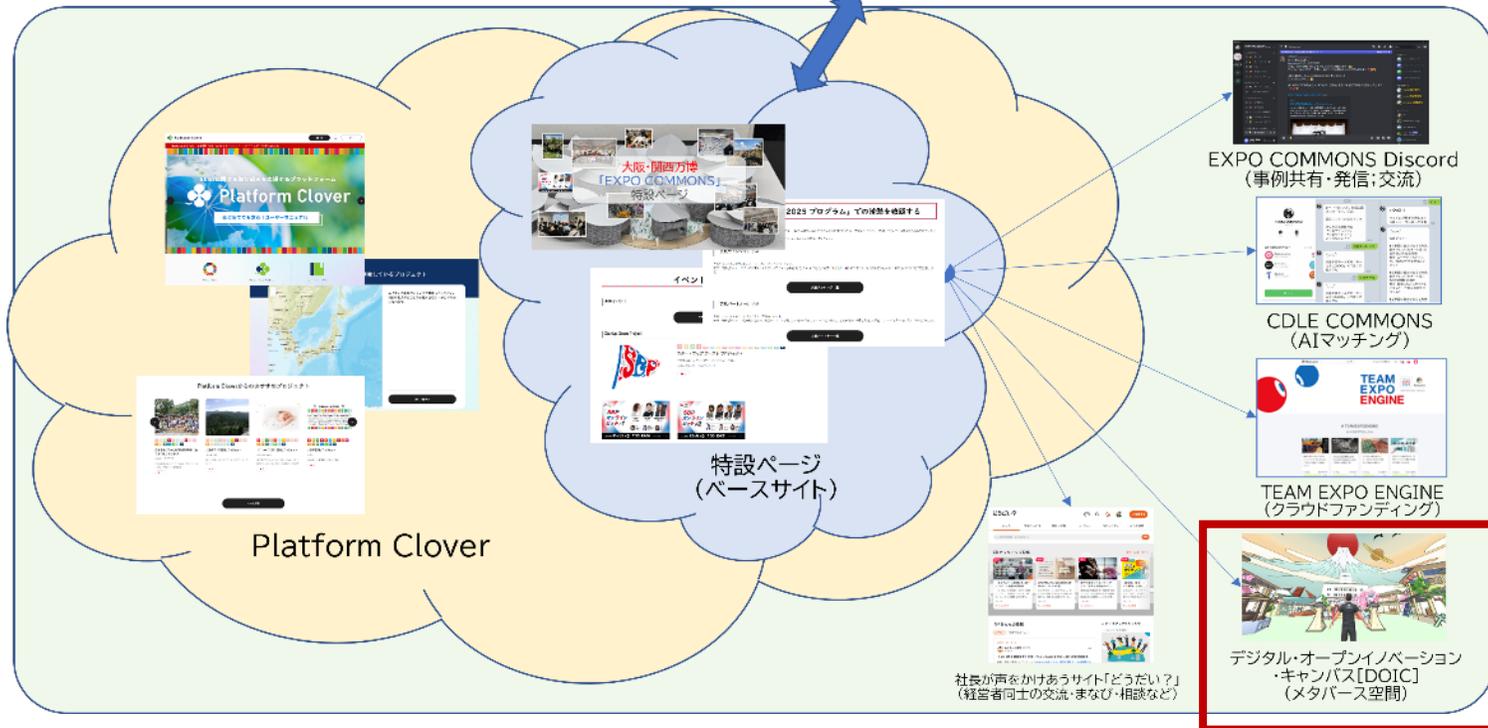
万博公式会場で「グローバルシンポジウム」を行います。

DOICメタバースが、万博協会「EXPO COMMONS」の採用決定！

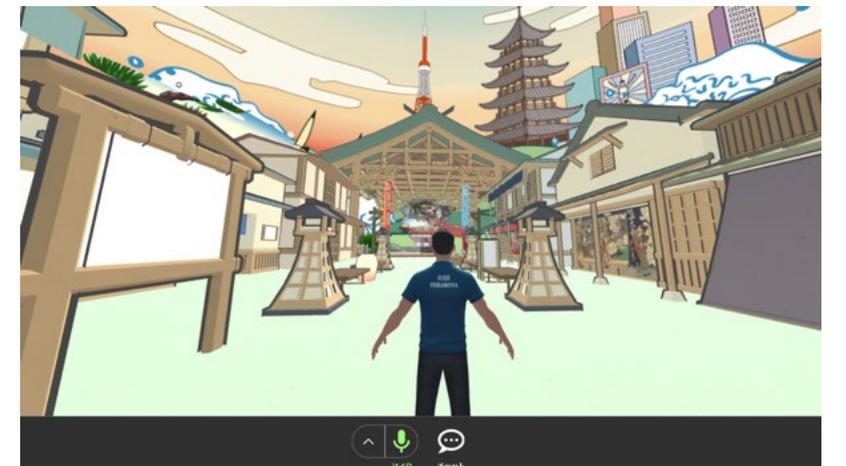
DOICがプロデュースするメタバース空間が、万博協会に採択されました。
TEAM EXPO MEETINGから、メタバースを活用した世界とつながる取り組みが始まります。

「対話」・「共創」の場イメージ(オンライン)

TEAM EXPOサイト



DOICを応援する共創パートナー



(出所) 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会HP「EXPO COMMONS」特設ページより

万博協会「EXPO COMMONS」が
DOICメタバースを採用

DOICでは、会期後の“Beyond 万博”を見据え、
万博会期前から会期中、そして会期後に至るまで産学官の共創関係を育んでいきます。

会期前（～2025年3月）

公開イベント

産学官連携オープンイノベーションのヒントを見つける公開セミナーイベントを主催

会員イベント

UNIBRAIN会員様への出会いを提供する各種イベントを主催

展示会

万博に関連する展示会の出展

共創マッチングサービス UNIBRAINβ版（p.82）

共創のきっかけ創出

会期中（2025年4月13日～10月13日）

リアル・イベント

Track 3,4への参加

バーチャル・イベント

メタバース空間での技術展示

共創の本格化

会期後（2025年10月13日以降）

公開イベント

産学官連携オープンイノベーションのヒントを見つける公開セミナーイベントを主催

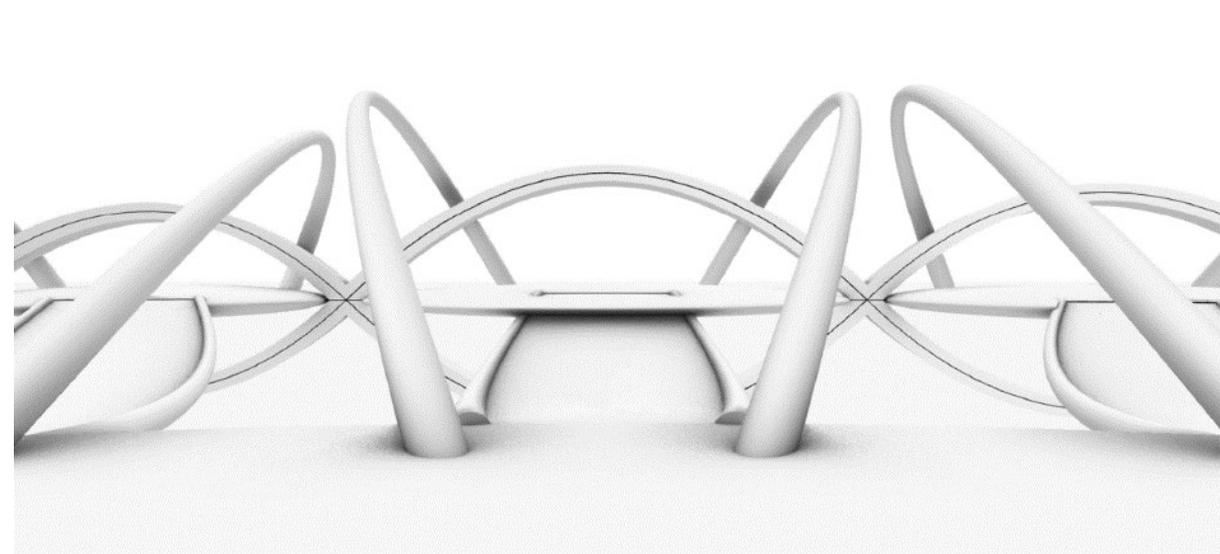
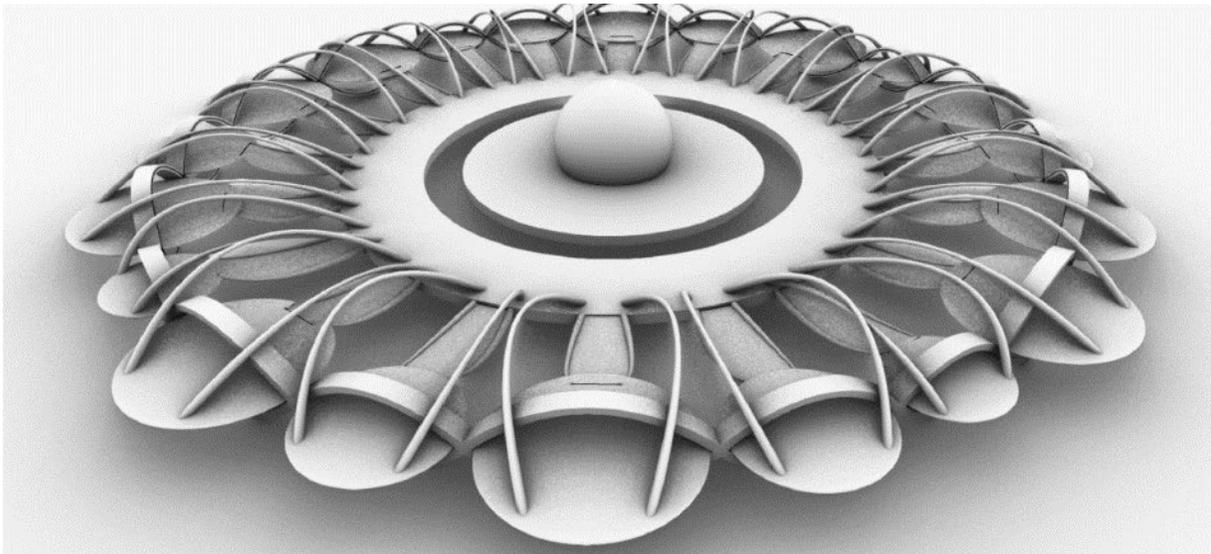
会員イベント

UNIBRAIN会員様への出会いを提供する各種イベントを主催

UNIBRAIN 完成版

共創の成果追求、拡大

会期前からメタバース空間などを活用した“DOIC”のプログラムをスタート！



世界中からの来場を見込めるデジタル空間で、産学官の最新技術やプロダクトを展示。

2024年4月にメタバース技術展示場をオープン&随時拡張し、

会期前～会期後にわたって

イノベーターたちの交流の場としても活用していきます。

共創パートナーとの出会いを提供し、継続的に関係を深めるイベントを開催します。

メタバース定例ミートアップ



交流と情報交換の場として、メタバース空間で定例ミートアップを開催。

<時期／頻度>

2024年5月以降、月1回程度

<参加者>

アカデミア・企業・国&官公庁：All

会期後…

UNIBRAIN会員：All

交流会・記念式典



交流会・記念式典をリアル中心にハイブリッドでも開催。

<時期／頻度>

万博直前、終了直後、終了1年後を計画
その後も定期開催

<参加者>

アカデミア・企業・国&官公庁：All

会期後…

UNIBRAIN会員：All

プレミアムイベント



海外VIPや有望スタートアップ企業、外国大使館、大学学長などを招いてプレミアムイベントを開催。

<時期／頻度>

万博直前、会期中、終了直後を計画
計3回

<参加者>

アカデミア・国&官公庁：選考
協賛社：プラチナ、ゴールド

会期後…

UNIBRAIN会員：プラチナ、スタンダード

産学官連携オープンイノベーションのヒントを見つける

公開セミナーを、2024年7月から毎月1回程度開催します（ハイブリッド形式を予定）。

●セミナーテーマ例

新規事業の知財管理が変わる



バイオプリンティング技術がうむ 食料の未来



再プラ・物流からくる サプライチェーン再構築



アメリカ・中国二極化の経済影響 ...ネット上は別世界



メタバース・VRの経済シミュレーション



宇宙とつながるスマートシティ

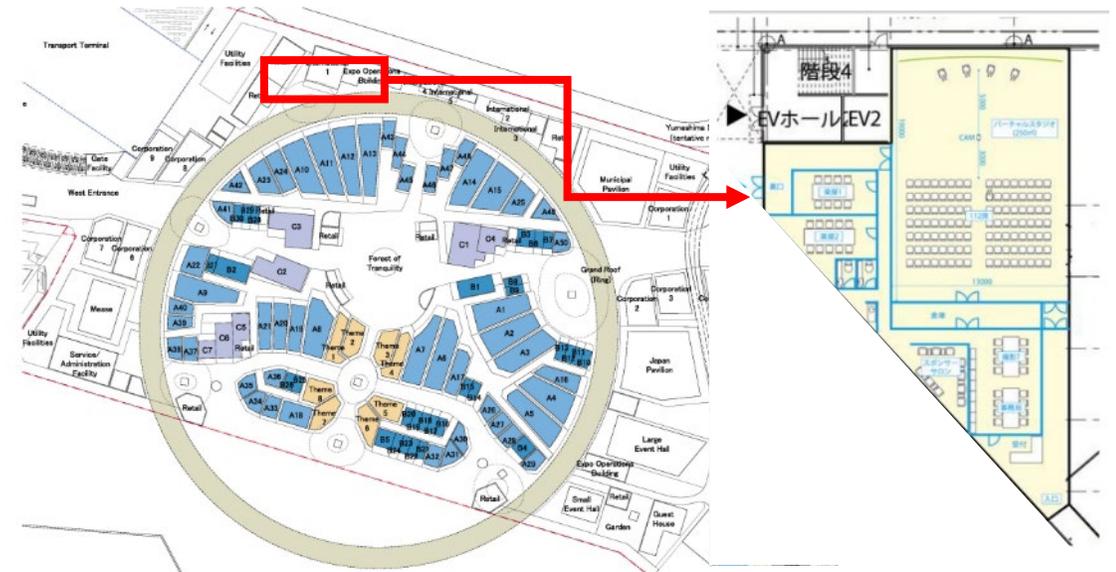


2.8 DOICのアクティビティ（会期中）

2025年4月に始まる万博。公式プログラム テーマウィーク（Track 3）において、多様なグローバルリーダーと共に「地球の未来と生物多様性」について、議論・提言を行います。

テーマウィーク（Track3）の採択第1号

テーマ	地球の未来と生物多様性 ～豊かで多様ないのちが住む地球を未来に残すために、私たちは何をすべきか？～
形式	シンポジウム＋対話セッション
開催時期	2025年9月20日（予定）
開催場所	万博会場内のスタジオ（約100席）
開催方式	ハイブリッド方式（予定）
開催時間	約4時間（搬入搬出含む）
登壇予定	世界を代表する大学、企業（スタートアップ企業含む）、有識者など



テーマウィーク（Track 3）の構成案 ※現状仮

時間	方式	出演者		内容
1h	基調講演	大学	議長：日本の大学	持続可能な未来への問題提起
			有識者：海外大学	各視点からの 이슈や、未来への技術紹介
1h		企業	議長：日本の先端企業	社会実装の先端取り組み事例
		学生・大学・企業	有識者：海外の先端企業	
0.5h	パネルディスカッション		学生からのファシリ、日本・海外の大学、企業	立場を超え、地球の未来を語る
0.5h	スタートアップスピーチ	スタートアップ	世界から厳選されたスタートアップが登場	実践をする先端のスタートアップの紹介

グローバルに活躍する国内外の登壇者と共に、未来につながるイベントコンテンツを創り、
万博を通じて世界に発信します。

DOICは、公式プログラム テーマウィークと連動した展示を開催します。

2025/5/15(木)～5/26(月)

未来のコミュニティと
モビリティ ウィーク



展示テーマ：未来社会と宇宙

AI・データ、Web3.0、メタバース、スマートシティ、ロボット、未来の乗り物（EV・FCV、自動運転、MaaS）、ドローン、宇宙 など

2025/6/5(木)～6/16(月)

食と暮らしの未来 ウィーク



展示テーマ：未来の食と農業

フードテック、アグリテック、サステナブルフード、フードロス、食文化 など

2025/6/20(金)～7/1(火)

健康とウェルビーイング ウィーク



展示テーマ：Well-being社会

<医療>
ゲノム医療、再生・細胞医療・遺伝子治療、AI医療技術 など

<ヘルスケア>
バイオサイエンス、未病・予防、先進検査、介護（デジタル、ロボット）、メンタルヘルス

2025/9/17(水)～9/28(日)

地球の未来と生物多様性 ウィーク



展示テーマ：脱炭素・CE

<脱炭素>
次世代エネルギー、水素・アンモニア、次世代電池、カーボンキャプチャー、エネルギー貯蔵、スマートグリッド など

<サーキュラーエコノミー>
サステナブルプラスチック、サステナブル材料・繊維、シェエリングエコノミー・PaaS、リカバリー・リサイクル など

TEAM EXPO 2025 市民参加型プログラム（Track 4）において、最新技術への関心が高い参加者同士の交流を促進するイベントを開催します。

公開シンポジウム・大交流会



技術研究をベースとした交流を促進するシンポジウムや大交流会をハイブリッド開催。

<時期／頻度>
会期中（Track 4）、計4～5回

大学ツアー



大学の研究所を紹介、研究者とのディスカッション機会を創出。

<時期／頻度>
会期中（Track 4）、計4～5回

AGENDA

3

参加方法

DOICの取り組みへの参加方法

DOIC（メタバース）

出展

Academia 大学、研究機関

Government 大使館、官公庁

原則無償で出展

お申し込みは
こちらから↓



出展

Business 一般企業

有償で出展

お申し込みは
こちらから↓



協賛

スポンサーとして参加（協賛プログラム）

※詳細はpost@bunkashihon.jpまでお問い合わせください。

2025年4月18日のメタバース技術展示場のオープンからスタート

いつでも随時参加可能です！

問い合わせ窓口

(企画・運営事務局：株式会社 文化資本創研)



+81-90-4275-1591 (直通)



post@bunkashihon.jp